

図書館だより

埼玉県立図書館

第52号
平成4年9月1日

編集 埼玉県立図書館
広報委員会
発行 埼玉県立浦和図書館
館長 新井 一久
浦和市高砂3-1-22
電話 048(829)2821

《埼玉の山》

(主な内容)

- 「山里の暮らし」(吉田健一).....(1)
- 「埼玉の山と私」(飯野頼治).....(2)
- 本のひろば.....(3-5)
- 9月-11月の主な催し物.....(6-7)
- Q & Aコーナー.....(8)



志賀坂峠上空から秩父を望む(県立自然史博物館提供)

山里の暮らし 吉田健一

荒川を廻り寄居をすぎると急に山がせまり、地形は一変する。雨が雪に変わるのもこのあたりからだ。

秩父盆地は、二億年を経た急峻な山々に囲まれているが、その山なみを切って西に伸びる群馬・長野へ通ずる谷がある。疎開していた我が家は、この谷の街道ぞいにあった。

昭和二十年代、この谷の一日は、山仕事に上って来る人達の自転車の列とともに明け、夕方は流れるように町へ帰るその姿で暮れていた。まだまだ遠くの橋の辺りに自転車をしながら、家に向かって駆けた私は、あつというまに近づいた自転車の下敷きになってしまった。

あれから何年たったのだろうか。家は拡張された道路の下になり、人の流れは逆になってしまった。朝は、自転車が代わって自動車が見え、夕方、山へ帰っていく。

地質は地形を育み、暮らしは地形に合わせて営まれるが、社会の変化は、それを根こそぎゆり動かしてしまふ。行楽の季節や休日に秩父への道が車であふれるのは、人々の心の中で、自然のある暮らしが見直され始めているきざしのように感じる。

(埼玉県立自然史博物館・主査)

20
1
2
3
4
5
6
7
8
9
130
1
2
3
4
5

埼玉の山と私

埼玉県の山は、大別すると「奥武蔵」「秩父」「奥秩父」の山々に分けられる。奥武蔵の山々は入間川水系、秩父の山々は荒川水系と、山の性格も異にしている。埼玉県は、県民の帰属意識も低く特色のない県と言われているが、山に関する限りはなかなかバラエティーに富んでいる。奥武蔵は丘陵性の山々で厳しさはないが、そこに住む人々の生活のじんだ山域である。西武鉄道と八高線沿線の山々として交通機関にも恵まれており、安心して登れるハイキングの好適地である。

秩父の山々は、山都秩父市を中心とした秩父鉄道沿線の山々である。秩父盆地は、「秩父浄土」の言葉通り、信仰の山や山麓には秩父観音霊場等も多い。

奥秩父は県の西部に位置し、二千メートル級の山々が連なり、中級山岳地帯として本格的な登山の対象になっている。その特色は十字峠付近の深い原生林や、中津川の谷等に代表される溪谷美である。

このように、埼玉にはそれぞれ個性豊かな山域があり、四季折々にその人の体力、経歴、興味等に合った

ハイキングや登山を楽しむことができる。私は次のようなことを心掛けながら、その時々に応じた山域を選び、埼玉の山々を楽しんでいる。

私の山行には、計画、実施、整理という三つの大きな楽しみの要素がある。登山を計画している時の、特に初めての山やコースであれば、あれこれ想像しながらの計画は胸が高鳴る。山行中は一番気持ちの充実している時であるが、山行を終えて、その記録を整理する時の楽しさもまた格別である。この三つの楽しさを十分満喫するには単独行が一番であるが、危険を伴うのであまり人には勧められない。しかし山になれてきたら奥武蔵の安全な山あたりから、一度は自分自身で計画し実行してみるのも良いと思う。



皆野町日野沢

蔵では慈光寺、高山不動、子の権現竹寺等。秩父では宝登山、三峰山、両神山等信仰の山も多く、山里には祭りを初め古い年中行事もまだ沢山残っており、これらを訪ね歩くのも楽しい。

昔の山村集落は、日当たりの良い山や尾根の高所の南斜面に形成されており、尾根の鞍部をはさんで、峠道による両地域の結びつきが強かった。

特に奥武蔵や秩父盆地では、小さな峠が無数にあり、以前は重要な交通路だった峠道が、今ではすっかり忘れ去られてしまっている。私は、昔の人達が朝な夕な利用した、これらの峠道をたどることを楽しみとして、数十年前も山旅を続けているが、興味の尽きることはない。峠道には、まだ少し人間の生活の匂いが残っているからである。昔の人達が、それぞれの思いで手向けをして越えたであろう峠の石仏や、山里の人達の話に耳を傾けるのも、味わい深い山行の一ページをしるすことができる。

このように、自分に興味のあるものを目標として持ち、「山旅」として楽しんできたことが、私の山行を長続きさせてきた秘訣と思っている。これからは埼玉の山を伸立ちとして自然に親しみ、山里の人達とも交流を深めていきたい。

飯野 頼治
(県立秩父高校教諭・日本山岳会会員、著書に、「両神山」実業の日本社・秩父ふるさと風土図、有峰書店新社・山村と峠道、エンタフライズ、などがある。)

登る山が決定したら登山案内書だけでなく、その山について先人達の書き残した紀行文や記録等に目を通しておく、より味わい深い山行となる。私は普段から山の古典等にも親しんでおくようにしている。奥武蔵では河田楨の紀行文や神山弘氏一

浄蓮寺 梅沢太夫文 福島博志写真 (さきたま文庫19) さきたま出版会 90 (浦熊川久)
信仰利生鏡 国指定野上下郷石塔婆由来記 長瀬町教育委員会 88
天保11年稿の鎌刻解説 原編著者、野原次郎右衛門 (浦熊川久)
外秩父古径 紫藤啓治 87 (浦熊川)



秩父の山を歩く 2

今号の「本のひろば」では、今からちょうど7年前に、「秩父の山を歩く」というテーマに関連する資料の紹介をいたしました。今回は、その後、埼玉県立図書館で受入・整理された主な資料をご紹介します。

分類は、全体を大まかに6に分け、その中を書名の50音順に並べました。なお、一枚物の地図や出版社の旅行ガイドシリーズ等は除外しました。



- 1 秩父事件
- 2 社寺・遺跡・文化財
- 3 民俗・伝説・祭り
- 4 自然
- 5 観光・紀行
- 6 文学

1 秩父事件
裁かれる日々 秩父事件と明治の裁判 春田国男 日本評論社 85
(口評選書) (浦熊川久)
山間農村の秩父事件 太田部村の経済構造と社会的人間関係を中心として 岩田泰治 (埼玉県教育委員会長期研修教員報告 昭和61年度) 87
地鳴り 困民党・須長連造のはなし 阿部昭三原作 尾崎正道編著 有峰書店新社 84 (浦熊川久)
自由自治元年 秩父事件資料・論文と解説 井出孫六編著 社会思想社 87 (現代教養文庫) (浦熊川久)
資料展秩父事件 展示目録 埼玉県立浦和図書館、埼玉県図書館協会編 87 (浦熊川久)
秩父コミュニティ伝説 山影に消えた困民党 松本健一 河出書房新社 86 (浦熊川久)
秩父困民党群像 井出孫六 社会思想社 86 (現代教養文庫) (浦熊川久)
秩父事件史 浅見好夫 言叢社 90 (浦熊川久)
秩父事件史料集成 第4巻 井上幸治(ほか) 編 三玄社 86 4・官庁文書1 (浦熊川久)
2 社寺・遺跡・文化財・巡礼
荒川村の文化財 荒川村教育委員会編 85 (浦熊川久)
小鹿神社 山本正実文・写真 (さきたま文庫20) さきたま出版会 90 (浦熊川久)
倉尾の文化財展 第3回 倉尾文化財保存会 86 (浦熊川久)
埼玉の神社 入間・北埼玉・秩父 埼玉県神社庁神社調査団編 86 (浦熊川久)
外秩父の古径 出雲伊波比社略記 紫藤啓治 90 (浦熊川久)
秩父古寺を歩く 室生朝子 新人物往来社 87 (浦熊川久)
秩父三十四観音めぐり 心から心への旅路 山田英一 大蔵出版 86 (浦熊川久)
新装版 秩父三十四所観音巡礼 法話と札所案内 秩父札所連合会編 朱鷺書房 88 (浦熊川久)
秩父神社 千嶋詩文・写真 清水武甲写真 (さきたま文庫2) さきたま出版会 89 (浦熊川久)
秩父の文化財 秩父郡市文化財保護協会「秩父の文化財」編集委員会編 90 (浦熊川久)
秩父坂東観音霊場 清水武甲写真集 西山松之助(ほか)解説 新人物往来社 84 (浦熊川久)
秩父霊場資料展・展示目録 札所め

くり 埼玉県立熊谷図書館編 87

3 民俗・伝説・祭り

語呂合せの神々 秩父・奥武蔵謎の伝説 神山弘 金曜堂出版 87 岳書房発売 (浦熊川久)

埼玉の祭り囃子2 埼玉県立民俗文化センター 89 (埼玉県民俗芸能調査報告書 第8集) 2 秩父地方編 (浦熊川久)

山村と峠道 山ぐに・秩父を巡る 飯野頼治 (シリーズ山と民俗13) エンタプライズ 産学社発売 90 (浦熊川)

下郷笠鉾 日本三大曳山祭・秩父夜祭 国指定重要民俗文化財 下郷笠鉾保存会 88 (熊)

新・三峰山誌 第1集 新井啓 秩父宮記念三峰山博物館 88 (浦)

外秩父槻川民俗誌 埼玉県秩父郡東秩父村槻川 田中正明編著 二松学舎大学附属高等学校社会科学部 85 (浦川)

秩父 蕨そして信仰 特別展 埼玉県立博物館 87 (浦熊川久)

秩父往環 武田家外伝 太田巖 新人物往来社 88 (浦熊川久)

秩父往環 埼玉県立博物館編 埼玉県教育委員会 86 (歴史の道調査報告書 第6集) (浦熊川久)

秩父甲州往環 埼玉県立博物館編

埼玉県教育委員会 90 (歴史の道調査報告書 第11集) (浦熊川久)

秩父街道 山梨県教育委員会文化課編 84 (山梨県歴史の道調査報告書 第2集) (浦)

秩父神社御田植神事 秩父市番場町 (埼玉県選挙無形民俗文化財シリーズ16) 89 (浦熊川久)

秩父地方の火祭り (秩父の山村民俗文化財調査事業報告書 第1集) 埼玉県教育委員会 89 (浦熊川久)

秩父地方の火祭り(2) (秩父の山村民俗文化財調査事業報告書 第2集) 埼玉県教育委員会 90 (浦熊川久)

ちちぶ長者 市川栄一文 吉本宗絵 幹書房 88 (埼玉の民話絵本2) (浦熊川久)

秩父西谷老譚(にしやつばなし) 新井佐次郎 まつやま書房 87 (浦熊川久)

秩父の言いぐさ 続・続 常木金雄 編著 ちちの木の会 90 (浦熊)

秩父祭 清水武甲写真 秩父祭保存委員会編 増補版 言叢社 84 (浦熊川久)

塚越の花まつり 秩父郡吉田町大字上吉田(塚越) 埼玉県教育委員会編 (埼玉県選挙無形民俗文化財シリーズ14) 86 (浦熊川久)

創る 写真集 秩父写真友会 84 (浦)

長瀬町祭り歳時記 長瀬町郷土研究会 85 (浦熊川久)

年中行事 両神村史編さん委員会編 86 (りょうかみ双書1) (浦熊川)

祭りと芸能 両神村史編さん委員会編 88 (りょうかみ双書2) (浦熊川久)

椋神社の竜勢 秩父郡吉田町大字下吉田 埼玉県教育委員会編 87 (埼玉県選挙無形民俗文化財シリーズ15) (浦熊川久)

山と伝説の旅 秩父・奥武蔵 神山弘 金曜堂出版部 85 岳書房発売 (浦熊)

歴史手帖 13巻3号 名著出版 85 特集・秩父山地の人と生活 人獣交渉の歴史 (浦熊)

4 自然

合角ダム・天狗岩のながい 作文集「小鹿野町」倉尾中学校生徒会 88 暮らしの中の植物 秩父地方の植物と民俗をたずねて 守屋忠之 みくに書房 89 (浦熊川久)

埼玉の奇獣 パレオパラドキシア

埼玉県立自然史博物館 (85) (浦川)

埼玉の山資料展 展示目録 秩父とその周辺 埼玉県立熊谷図書館編 88 (浦熊川久)

山岳写真 奥秩父鑑賞の手引き(指導者用) 埼玉県立名栗少年自然の家編 88 (浦熊川)

秩父から 南良和作品集 南良和 日本経済評論社 89 (浦熊川久)

秩父高原牧場のあゆみ 埼玉県秩父高原牧場 85 (浦熊川久)

秩父ザル 野生群を追う10年の記録 鈴木欣司 さきたま出版会 85 (浦熊川久)

秩父山系高等植物採品目録 87 岩田豊太郎 限定版 87 (浦熊川久)

秩父の峠 大久根茂 さきたま出版会 88 (さきたま双書) (浦熊川久)

秩父武甲山総合調査報告書 武甲山総合調査会 87 7冊 (浦熊川久)

秩父両神山の自然観察 (自然観察ガイドブック40) 日本自然保護協会 89 (浦熊川久)

日本の生物 第46号 文一総合出版 90 特集・奥秩父の生物 (浦久)

野に咲く草花 野草の観察と栽培の手引き 磯部昂 長瀬町企画調整室

3 観光・紀行

ガイドブックちちぶ 改訂版 秩父観光協会 90 (浦久)

雲取山に生きたる ランプとともに30年余の山暮らし 新井信太郎 実業之日本社 88 (浦熊川久)

健康ウォーキング 奥武蔵・秩父編 小倉厚 埼玉新聞社 89 (浦熊川久)

山岳ノート 都会からの山及び奥武蔵・秩父の山と峠と里に拾う 藤本一美 90 (浦熊川)

ちちぶ 風と光を道づれに 日本電信電話株式会社秩父電報電話局テレマーケティングセンター 87 NT T秩父観光ガイド (浦熊川久)

秩父路50年 清水武甲、千嶋壽 新潮社 86 (とんぼの本) (浦熊川久)

秩父路散策 自然とふれあう札所めぐり (サイギン・ファミリアブック) 埼玉銀行広報部 90 (浦)

埼玉県選挙無形民俗文化財シリーズ3

秩父路峠道ハイキング No.1~3 秩父鉄道株式会社 88 (浦久)

秩父路花の歳時記 スケッチ・エッセイ集 井上光三郎 北泉社 90 (浦熊川久)

秩父の低山 奥武蔵・比企・秩父41コース 守屋竜男 けやき出版 90 (浦熊川久)

秩父みかく街道 さいたま市特産の里(秩父編) ほおずき舎 87 (ほんもの手づくりシリーズ別冊) (浦熊川久)

秩父味覚ハイイク 観光農園・民宿・ハイキング 秩父観光農林業協会 90 (川)

長瀬観光のあゆみ 大正から昭和 長瀬町観光協会編 長瀬町 90 (浦熊)

ふるさとの文学 秩父の文学をたずねて (県立図書館双書) 同刊行委員会 (86) (浦熊川久)

6 文学

秩父 詩集 飯岡享 詩学社 88 (浦川)

秩父 平井孝詩集 平井孝 花神社 86 (浦熊)

秩父路 中島千友 花神社 81 (浦)

秩父事件の女たち 保高みさ子 講

談社 87 (浦熊川久)

秩父に革命の嵐吹く 秩父暴動事件 斎藤成雄 近代文芸社 87 (浦熊川久)

秩父の作家 写真集 秩父写真友会 89 (浦熊川久)

秩父野抄 詩画集 宮崎有広、矢部亜矢 椿書林 86 岳書房発売 (浦熊)

秩父まつり くさぶえの童話 市川栄一(ほか)著 黒田祥子絵 けやき書房 85 (浦川)

秩父夜祭殺人景色 長編推理小説 菊村到 光文社 86 (光文社文庫) (浦)

ふるさとの文学 秩父の文学をたずねて (県立図書館双書) 同刊行委員会 (86) (浦熊川久)

吉田の万葉歌碑 山口平八 吉田町教育委員会 82 初版・昭和41年1月発行 (浦)

(一)内の略語は、次の各館の所蔵を表します。

浦……………埼玉県立浦和図書館
熊……………埼玉県立熊谷図書館
川……………埼玉県立川越図書館
久……………埼玉県立久喜図書館

らいぶらいい

9月～11月の主な催し物

●県立浦和図書館

映画会

土曜親子映画会

9月12日(出) 10時

「健太のトンボ日記」

「ドナルドダックの」

「どんぐり騒動」

金曜映画会

9月25日(金) 14時

「ふるさとを捨てたサギ」

野田のサギ山にサギが米なくなつた現実を踏まえ、白サギの生態を通し公害の恐ろしさ自然保護の大切さを訴える。

「縄文時代」

「地球が危ない」

10月9日(金) 14時

「八十七歳の青春」

「一つづいてくる人々へ」

明治・大正・昭和を女性の地位向上のために戦い続けた市川さんの生涯を生前の記録と共に日本の婦人運動史を概観「市川房枝生涯を語る」短縮版

10月23日(金) 14時

「ニホンザル物語 家族」

手足に大きなハンディを背負って生まれたニホンザル「モズ」と娘の「モミジ」を中心に、九年の歳月をかけて母子四代を追い続けた貴重なドキュメンタリー。

「ふるさと埼玉を知る映画会」

11月13日(金) 14時

「ふりむいて120」

「みづめて未来さいたま」

「ふるさとの点描」

「ふるさとの秋」

「埼玉の四季シリーズ」

11月14日(出) 10時

「赤毛のアン」

「みなし子でも少しもいじけず、周囲の人々に見守られながら友情を育て、夢を求めて成長していく一人の少女の物語。」

●県立熊谷図書館

《映画会等》

「名作映画鑑賞会」

9月5日(出) 10時・14時

「蒲田行進曲」

11月7日(出) 10時・14時

「七人の侍」

一九五四年 東宝

金曜映画会

9月18日(金) 14時

「夫の定年 妻の定年」

「いきいき老後」

9月25日(金) 14時

「川越まつり」

「ふるさとの祭り」

10月16日(金) 14時

歌舞伎の魅力

「菅承相 片岡仁左衛門」

「義太夫狂言の演技」を、片岡仁左衛門が演じる「菅原仁授手習鑑」の菅承相を通して理解できるように描いている。

10月23日(金) 14時

「骨寄せの岩藤」

「ふるさとの味」

「ふるさとの味覚」

11月20日(金) 14時

「秩父事件」

「絹と民権」

「山の湯けむり」

「秩父七湯」

11月27日(金) 14時

「奥羽の鷹使い」

「野生のイノシシ」

「県民の日親子映画会」

11月14日(出) 10時・14時

「オバケちゃん」アニメーション

「小さな家族」劇

おばあちゃんがほくに教えてくれたこと。

それは勇気を持って生きることだった。

●県立川越図書館
親子映画会
9月12日(出) 10時・14時
「先生のつうしんぼ」
ひそかに先生の成績をつける少年吾郎と、クラスのみんなどのワザを交わす展開される。
「映画のついで」野生の鳥
9月25日(金) 10時・14時
「イヌワシ 風の砦」
日本最強の猛禽といわれるイヌワシ。謎といわれたその生態を七年間追いつけた貴重な記録。

「裸の大将放浪記」
山下清物語
放浪の天才画家、山下清の生涯。全編を貫く明るいユーモアのなかに、精神薄弱者としての苦難や有名になりすぎた晩年の悲哀などが描かれる。
「映画と音楽の集い」
「デイズニー映画の世界」
11月14日(出) 9時30分・13時30分
①CDコンサート
②映画「ピーターパン」
三ヶ年の歳月、二百万枚の絵、当時四百万ドルという巨額の製作資金を注ぎこんで製作された、デイズニーの超大作アニメーション。
11月28日(出) 9時30分・13時30分
①CDコンサート
②映画「ふしぎの国のアリス」
大人も子供も男も女も笑って興奮して心から楽しむ、デイズニーのカラー漫画映画の中でも、ずばぬけたスピードと変化に富んだ、すばらしいミュージカル・ファンタジーの傑作。

●県立久喜図書館
著者との集い 講演とスライド
9月22日(火) 10時・16時
一階視聴覚室 定員140人
演題 「ケルトの世界」その民俗の伝統と美術
講師 鶴岡真弓氏
※申し込みは、直接、あるいは電話又はハガキで県立久喜図書館(048-21-655)へ

映画会 一階視聴覚室
9月18日(金) 14時
「あなたも歩いてみませんか」ふるさと歩道
「川越まつり」
9月26日(出) 10時・14時
「伊豆の踊り子」
10月2日(金) 14時
「イヌワシ風の砦」
10月23日(金) 14時
「ほくに涙はにあわない」
11月6日(金) 14時
「新しいおふくろの味」
「みなおそうわが子の食事」
11月20日(金) 14時
「ばさらの時代」
「浮世絵と歌川広重」
11月28日(出) 10時・14時
「喜劇の神様」
「チャップリンの舞台裏」
「チャップリンの伯爵」

●県立浦和図書館
名作映画会
10月8日(木) 10時・14時
「北壁に舞う」
魔の北壁ランドジョラスに、たった一人の17時間。



●県立熊谷図書館
名作映画鑑賞会
9月5日(出) 10時・14時
「蒲田行進曲」
11月7日(出) 10時・14時
「七人の侍」
一九五四年 東宝
金曜映画会
9月18日(金) 14時
「夫の定年 妻の定年」
「いきいき老後」
9月25日(金) 14時
「川越まつり」
「ふるさとの祭り」
10月16日(金) 14時
歌舞伎の魅力
「菅承相 片岡仁左衛門」
「義太夫狂言の演技」を、片岡仁左衛門が演じる「菅原仁授手習鑑」の菅承相を通して理解できるように描いている。

●県立久喜図書館
著者との集い 講演とスライド
9月22日(火) 10時・16時
一階視聴覚室 定員140人
演題 「ケルトの世界」その民俗の伝統と美術
講師 鶴岡真弓氏
※申し込みは、直接、あるいは電話又はハガキで県立久喜図書館(048-21-655)へ

●県立浦和図書館
名作映画会
10月8日(木) 10時・14時
「北壁に舞う」
魔の北壁ランドジョラスに、たった一人の17時間。

※映画会等の入場はすべて無料です。詳しいことは、各館へおたずねください。

Q&Aコーナー

図書館ではどんな仕事をやっているのですか

Q 学校が夏休みの間は学生、生徒で盛況でしたが、図書館ではどんな仕事をやっているのですか。

A 図書館の仕事は、昭和二十五年に施行された「図書館法」に基づいています。ここで少し長くなりませんがこの箇所を紹介してみます。

第三条 図書館は、図書館奉仕のため土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るよう留意し、おおむね左の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- 一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード、フィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視覚聴覚教育の資料その他必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- 二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 三 図書館の職員が図書館資料に

ついて十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映画会、資料展示会等を主催し、及びその奨励を行うこと。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

Q なるほど、だいたいのことはこれでわかりました。いろいろな仕事があるものですね。さて、図書館では相談ごとに応じてくれるそうですが。

A はい。皆様の日常生活のなかで、もっと詳しく知りたい、調べてみたいなど疑問が生じた時は、図書館に御照会ください。図書館所蔵の資料から御質問に対して適切な

ものを探索してその情報を提供いたします。自館に適切な資料がない時は、他館にも問い合せています。ものによっては、専門機関を紹介することもあります。

なお、人生案内、身上相談、医療相談など、御遠慮いただいているものもあります。こういった仕事を「レファレンス業務」といっています。

Q 「リクエスト・サービス」という仕事もあるそうですが詳しく知りたいのですが。

A お客様の求める図書が、未所蔵であったり、所蔵していても貸出中の時、予約していただき、後日、提供する制度です。

Q もう少し詳しくお願いします。

A 自館で所蔵していない時は、県立図書館をはじめ主に県内の図書館の所蔵の有無を照会しています。貸出中の図書は返却後になります。

Q 他館にあった時は直接そこまで、出かせなければいけませんか。

A いいえ、県立4館間には連絡車、県立図書館とそれぞれのサービスイリア内の市町村立図書館間には協力車が定期的に巡回していますので、わざわざ所蔵館までお出かけいただくなくても、お客様が

クレストされた地元図書館で手にできます。

また、どこの館にもない時は、国立国会図書館から借用しています。なお、どの館でも保存上、貸出先の館内だけの利用という図書もあります。御不便をかけますが、

Q 購入することもあるのですか。

A はい。どこの図書館にも所蔵していない時は、購入しております。昨今の出版流通事情で絶版になっているものもあります。

Q 他の仕事については、次の機会におききたいと思えます。

編集後記

大変遅くなりましたが、「図書館だより52号」をお届けします。

今号のテーマは「埼玉の山々」。この夏休み、埼玉の山々に、大勢の方々が出かけのことと思います。

私達にやすらぎと新鮮な感動を与えてくれる美しい埼玉の山々や自然を、私達は自ら汚すことなく大事に守っていききたいものです。

今号から新たに「Q&Aコーナー」を設けました。図書館に関する御質問等がありましたら、是非お寄せいただきたいと思います。